

第25回五霞町青少年の主張大会

～児童生徒が、日頃の考えや思い、

また将来の夢などを力強く主張発表～

10月1日、中央公民館講堂において、第25回五霞町青少年の主張大会が盛大に開催されました。

当日は、町長を始め、町議会議員、教育委員、各小中学校PTA会長、民生委員、青少年相談員、子ども育成指導者など約200名の来賓や一般聴聞者が出席するなか、小学生4名、中学生6名の10名の児童生徒が登壇し、日頃の考えや思い、また、将来の夢などを力強く主張発表しました。

受賞者は次のとおりです。



〔受賞者名〕 (敬称略)

○五霞町青少年問題協議会長賞

五霞中学校3年

須釜 愛

○五霞町議会議長賞

五霞東小学校6年

竹内 悠真

○五霞町教育委員会教育長賞

五霞中学校1年

吉田 美咲

○青少年育成五霞町民会議会長賞

五霞西小学校6年

大谷 美葵

○五霞町青少年相談員協議会長賞

五霞中学校3年

大橋 稜

○優秀賞

五霞東小学校5年

増田 奈美佳

五霞西小学校5年

森田 頌末

五霞中学校1年

松本 咲衣

五霞中学校2年

菊地 一葉

五霞中学校2年

鈴木 伯

出会いを通して

五霞中学校 3年

須釜 愛



私は生まれてから一体、何人の人と出会ったのだろう。人と「出会い」。それは、とてもすばらしく、すてきで、奇せきのみ重ねである。中学三年生になった今、私は思うのです。私をはじめにそう思ったのは、小学校五・六年生の担任の先生との出会いでした。その先生は、厳しさがあっても私たちに對して、真正面からぶつかってきてくれました。また、とても親しみやすく、一言で表すと学校でのお母さんのような存在で、いつも安心感を与えてくれました。

六年生のとき、私は先生に青少年の主張大会の作文をやってみないかと声をかけられました。私は迷いましたが、先生と一緒に挑戦しました。何度も文章を考え、発表の練習をして大会に臨むことができました。私は、大勢の人の前にたつて発表

することが苦手でしたが、このことをきっかけに克服することができたように思います。私に挑戦する機会を与えてくれた先生に感謝しています。私は、小学校の教師になりたいと思っています。元気で明るく、常に子どもたちと向き合える先生になり、たくさんの子どもたちに出会いたいのです。そして、出会いのすばらしさを伝えていきたいと思っています。私にとって、小学校の時に出会った先生や仲間との思い出は、今でも大きな力であり宝です。

中学生になり、また新しい先生、仲間とのすばらしい出会いがありました。出会った先生の中に、自分の体験を通してこんな考え方もあるよと教えてくれた言葉がありました。それは、「死ぬこと以外はかすり傷」私は、この言葉を聞いて、はじめは少し驚きましたが、少しずつ理解することができ、いつの間にか私の心にずっと残る言葉となりました。私が悩みや不安を抱えているときに、この言葉がとても励みになり、もう少し頑張ってみようと思うことができました。先生とは、一年間という短い時間しか一緒に過ごすことができませんでしたが、私はたくさん元氣と情熱をもらいました。

そして、私には同じ部活動の仲間であり、信頼できる友達がいいます。私が困っているときや、考え事などをしてしているときには、真っ先に気付いて声をかけてくれます。私は、その友達のおかげで勇気づけられたことがたくさんありました。部活動の中で、悩んだこともたくさんありましたが、そんな時は、いつも仲間がそばにいてくれて一緒に頑張ることができました。はじめは自信がなくなりましたが、このメンバーとならぶ立場も、このメンバーとならぶ気になりました。私の力となってくれた友達。今度は、その友達が悩んでいたたり、困ったりしているときは、すぐに気付いて少しでも力になりたいと思っています。私は、こんなすてきな友達に出会うことができるとても幸せです。

みなさんも今日まで、たくさんの方との出会いがあったことでしょうか。その出会いの中で、励ましをくれた人や、大切な存在になった人がいるのではないのでしょうか。私は、こんなにもすばらしい出会いがあったことに感謝しています。そして、これからも数多くの出会いがあるでしょう。私は、その一つ一つの出会いを大切に、人生を豊かにしていきたいと思っています。